

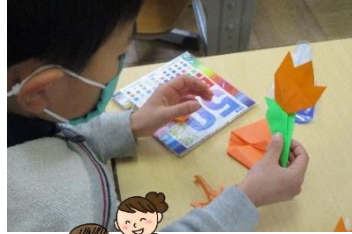


感謝の気持ちをお手紙に込めて… 2.19 (金)

美合っ子は、この1年、様々な方にお世話になり、支えられてきました。2月19日、学校にお招きして感謝の気持ちを伝える「感謝の会」を開催する予定でしたが、多くの方をお招きできなくなり、お手紙や記念品をお届けする形に代えました。連絡児童の皆さんから様々な方々へ届けられます。



届けられる記念品



みんなみんなあいがとうの会 2.19 (金)

こあらグループさんが、年1回学年読み聞かせを行ってくださいます。他の学年はもうやっていただきましたが、6年生は、6年間の総まとめで、大々的に開いてくれます。みんなが役者になり切り本の世界を演じてくれました。(校長先生・教頭先生も少しだけ参加させていただきました…)



R3.2.22(月)
NO. 39

感謝の気持ちを表して…



「生田のちからもち」は美合に伝わる民話を、和紙で大型紙芝居にしたこあらさん自慢の手作りです。

「効率よい照明の使い方」を考えます。キューブの照明が、どういう時に点き、どうなったら消えるのか…光センサーの光量、ブザーや手作りの音、揺れや温度等の情報を操作し「～なったら点く」「～なったら消える」等、次々に指令をプログラムします。

プログラミング学習～6年生～



大画面に映し友達プログラミングを共有



いつ点き、いつ消えるのかな

環境学習のまとめ～4年生



アスクネットさんにお越しいただきました。アイシンさんにはリモートでご講評をいただきました。

十九日、こあらグループさんによる卒業生への学年読み聞かせ「みんなみんなありがとうの会」が体育館で行われました。本来なら音楽室で「ありがたう」の歌を六年生とこあらさんと交互に歌い合う場面もあるところを今年は少し形を代えての実施となりました。それでもとても楽しく、感動的な会でした。六年生は、六年間こあらさんたちの読み聞かせに慣れ親しみ、その集大成がこの会でした。感謝の気持ちを表す行事が次々と行われていきます。もうすぐ三月。いよいよ「卒業」の言葉が頭をよぎります。卒業を祝う会も間近です。在校生が卒業生に向けて様々動いてくれていきます。卒業生はお世話になった方々に、在校生は卒業生に、どうしたら感謝の気持ちを表せるか、どうしたら感謝の気動で今後の生活を送ればいいのか、真剣に考えてほしいと思います。

今週の言葉は「三寒四温」の季語は冬！
現在は、三日低気圧の寒気で寒い後、高気圧に覆われ四日暖かい。それを繰り返し、本格的な春になると、早春の言葉として使われます…。